

授業科目

相談援助実習I

担当教員名 丸山 仁	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

授業の概要

社会福祉士としての、(1) 専門技術（社会福祉固有の援助方法・技術）、(2) 専門知識（歴史、倫理、知識、各種社会福祉制度、隣接学問に関する知識）、(3) 福祉倫理（価値観や思想、人権擁護、守秘義務）の基礎を身につける。

事前学習では、主に専門知識や技術、福祉倫理の基礎を修得する。

9月に実施する体験実習（＝施設見学）では、事前学習で得た知識に基づき、社会福祉分野の現場の状況、諸機関・施設で働く職員の役割等を体験的に理解する。

授業の目的

社会福祉を学んでいくための基礎的な知識や関心を養う。

学習目標

1. 社会福祉各分野の機関・施設について、その設置趣旨・目的・事業内容・利用者の実態等を述べるができる。
2. 配属実習（相談援助実習2, 3）の前段として、見学実習をとおして社会福祉各分野の現状と課題を説明することができる。
3. 社会福祉機関・施設等で働く社会福祉士（ソーシャルワーカー）の基本的業務・役割を列挙することができる。
4. 社会福祉士実習生として社会福祉現場について関心を持ち、積極的に見学実習に参加することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	全体授業1 オリエンテーション：本学の実習カリキュラム、相談援助実習1の内容	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
2	全体授業2 社会福祉の行政機関：社会福祉行政機関の概要、現状と課題	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
3	全体授業3 児童福祉の分野：児童福祉サービスの体系、現状と課題	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
4	全体授業4 老人福祉の分野：介護施設の現状について	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
5	全体授業5 障害者福祉の分野：障害者福祉サービスの体系、現状と課題	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
6	全体授業6 医療の分野：医療ソーシャルワーカーの仕事	講義	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
7	グループ学習1 見学実習施設に関する理解：児童分野	グループワーク	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
8	グループ学習2 見学実習施設に関する理解：高齢者分野	グループワーク	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
9	グループ学習3 見学実習施設に関する理解：障害分野	グループワーク	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
10	グループ学習4 見学実習施設に関する理解：行政機関、その他	グループワーク	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
11	全体授業7 見学実習に関するオリエンテーション	見学実習日時、服装・態度、学習上の留意点、課題提出の方法 等	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
12	見学実習1	学外実習	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
13	見学実習2	学外実習	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺
14	見学実習3	学外実習	丸山 仁、山本、鈴木、渡辺

15	見学実習4	学外実習	丸山 仁、山本、 鈴木、渡辺
----	-------	------	-------------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	使用しない					
参考書	使用しない					
その他の資料	適宜配布する					

評価方法

授業への参加態度、課題提出状況 等により評価する。

履修上の留意点

- 1) この科目は相談援助実習II(2年次)・III(3年次)の基礎になるものであり、1年次に履修し単位を修得しておかなければならない。
- 2) 初回授業の日程については、別途連絡をします。
- 3) 遅刻欠席のないようにすること。やむを得ず遅刻・欠席せざるを得ない場合は、必ず事前に連絡をすること。特に、見学実習を遅刻・欠席した場合は、単位を習得できなくなることがあるため十分注意すること。

オフィスアワー・連絡先

統括担当教員は、丸山となります。

グループ担当の教員への連絡先・方法については、初回授業で説明します。